



今、本気でアクセルを踏みたくなるクルマといえばアンフィニRX-7、FD3Sかもしれない。流れるような軽量ボディに積まれるシーケンシャルツインターボ、そして軽快なフットワークはスポーツカーの楽しさを教えてくれる。このFD3Sをターゲットにして東西の代表的なチューナーがここT1サーキットに集まった。コンピュータ、サスペンションキット……MOREスポーティに味つけされたチューンドFD3Sはやっぱり……速い。

コントロールなフットワーク



エンジンは吸排気のチューニングだけにとどめ“コントロールしやすい楽しいクルマ”をコンセプトにフットワークを中心にチューニングが施されたトライアルのFD3S。サスペンションキットはマイルドな味つけてハイレベルな仕上がりを見せていた。パワー的には他車に比べ見劣りするものの、乗り慣れたT1サーキットだけにハデなドリフト走りでトップタイムを叩き出した。

■BEST LAP: 1' 55" 35



トライアル
☎0722-54-7039
牧原代表



■DATA——パワーフローアルティマ80φマフラー(最大0.8kg/cm²) オリジナルサスペンションキット HKSメタルブレーキパッド

FD3Sはまったくのノーマルでもサーキットを楽しく走れるクルマですよ。これまでフットワークを中心にテストしてきたので現在のところエンジンパワーは265psほど。過給圧アップやインタークーラー交換で300ps近くまで上げて、トータルバランスを高めてやれば50秒台も十分可能なタイムじゃないかな。今後もテストを繰り返して完成度の高いパーツを開発していく予定です。

FD3Sの走りを変えるオリジナルパーツ



東のRE雨宮に対抗して西のロータリーのスペシャリストといえばやっぱり藤田エンジニアリングだ。すでにオリジナルパーツを数多く開発しており、一段とスポーティな走りを引き出している。しかしミッショントラブルやラジアルタイヤであったため、いまひとつ思うような走りができなかった。ターボ系においてもチューニングをスタートさせており、FD3Sの開発は一気に進むはずだ。

■BEST LAP: 2' 03" 45



藤田エンジニアリング
☎0729-49-1313
藤田代表



■DATA——F-CON パワーフローFEED80φマフラー(最大0.8kg/cm²) FEEDサスペンションキット FEE Dブレーキパッド

FD3Sのチューニングに関してはいろいろと計画していますよ。パワーを重視したシングルターボから3ローターコスモのタービンを使ったシーケンシャルツインターボなどなど。今日みたいなサーキットランとなれば、ちよっとボディ剛性が気になりますね。それとエンジンルーム内の熱ガスゴイ。この熱対策はFD3Sのチューニングを進めていくにおいて、これからの課題といえますね。